

# がんは延命でな 治す時代に。

中村祐輔

都宮高明

2019年2月 公益財団法人 がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター 所長室に



上昌広先生(前東京大学医科学研究所特任教授) からご紹介をいただい た中村祐輔先生が、2012年にシカゴ大学医学部教授に就任されました。 医学部新設を目指していた成田市として、中村先生に是非ご指導していた だきたいと考え、議員団団長としてシカゴ大学を訪問いたしました。

2018年6月に帰国され、7月より がん研究会の所長としてご指導を されているとのご連絡をいただき そこで、本年1月に成田 赤十字病院と (一社 )成田医療 2038研究所共催でご講演をいた だきましたので、そのご講演を踏 まえ、今後のがん治療等について 対談させていただきました。



2012年9月 シカゴ大学中村研究室にて

に基づいた「ゲノム医療」が広がり、新規 せるか」を前提に治療がなされていました。 2016年にオバマ大統領は「がんの治癒 はなく治す時代に」との先生のお話は、 治るようになっていたとはいえ、難治がん 書演説で発表され世界に大きな衝撃を与え を目指したムーンショット計画」を一般教 革が起きる可能性が高いと思っています。 加した者一同たいへん関心を示していまし ありがとうございました。「がんは延命で 現状はいかがですか。 がん治療は、今後5年のうちに大変 近い将来、患者さんの遺伝子解析 当時、日本でもがんの6割以上が 依然として「いかに延命さ

> の診断法や治療法が開発されれば、日本も 指すことができると思います。 「延命」ではなく「治癒」のための治療を目

解析に基づいたゲノム医療

先日は、

成田でご講演をいただき

5年以内の大変革。遺伝子

10年生存率と標準療法の敗北

容はとても紹介できませんが、「がん部位 演会でお話いただいた 56枚のスライドの全 ず、日本では、「国が決めたガイドライン 中村先生が、ご提言されているにも関わら い入るように見つめていました。 に沿っての標準治療」が主流とのこと。講 (遺伝子) 医療の世界的研究者であられる 全国で」と掲載されていましたが、ゲノム 新聞のトップ記事として「がんゲノム医療 10年生存率・図ー」について参加者は食 今年 (2019年)1月15日の日経

中村 このスライドで示されている「すい 「座して死を待て」 は、 患者さ

新しい免疫療法に日本では正当な光が当 最後のスライドが先生の人間愛と感じまし 患者や家族の人生の質に大きな差」という わずかな灯りでも、希望の中で生きるのか 希望を」という視点 しかし、世界的に広がろうとしている 「真っ暗な闇の中で生きるのか 「目の前の患者さんに生きる

たっていないようですね。

を思いやる人間愛が欠落していると思って として持つべき、患者さんや家族の気持ち に「あなたは余命何ヵ月です。」と言う医者 か生きてほしい」という願いを奪い取って んが「生きたい」という想い、家族の「何と なことですが、現在の標準治療は、 準療法の敗北と言わざるをえません。残念 臓がんの3年生存率 15%」という数字は標 いる面があります。患者さんの表情も見ず

### 図1 がんの部位別10年生存率 前立腺 甲状腺 子宮体部 乳腺 子宮頸部 肺胱 腸 乳腸 早期に発見すれば 治癒率は高い 74 早期に発見しても 治癒率の低いがんがある (肝臓がん・すい臓がん) 29 36 3年生存率15%という数字は 32 29 標準療法の敗北

宇都宮 と思われますか。 本とアメリカの違いはどのようなところだ れてきた、 賭けない文化かの違い 可能性に賭ける文化か 長年、日米双方の医学界で研究さ 中村先生が感じられている、

をやるのはおかしい」と否定するのが日本。 と思います。「効くどうか分からないもの 中村 可能性に賭ける文化があるか否かだ (裏面へ続く)

さんに生きる希望を」と考える視点を常に 本は周回遅れのままです。「目の前の患者 で批判をしています。こんな発想では、日 ては「エビデンスがない」との決まり文句 メリカ、欧州、中国では臨床試験が始まっ したネオアンチゲン療法「がんプレシジョ 持っていなければならないと思います。 ン医療プロジェクト:図2」は、すでにア 私が研究してきた遺伝子解析を活か 日本では、新しい治療に対し 韓国も乗り出そうとしていま

日 国立がん研究センター・がん情報サービスより うつのみや高明政策レポ 2019 NO.91 発行:政友クラブ

いた 中村 本も と同じ いす だ がとうござ 設が認められました。 本は残念ながら、 い免疫療法に向かっ 世界は試行錯誤を繰り返しながらも、 主流に と言われたものは、 コストが から帰国して半年ほど経つのです に考えて効く可能性があるからやってみよ 「効くか 新 います。 本は いま 治療 十字病院の講演時に質問された先生が わせ き 性に合っ んでいく気持ちを持っ ノカゴで 成田 を開始すべきだと思いますが それを支えています。 と考えるのがアメリカです。 日本全体の問題だと思います。 れ ま オ 意味 加し オバマ大統領が「プレシジョン なっ ばするほど、 免疫療法が ?効かないかわからないが、 本日は貴重なお話をいただき 日米の違い 本的 は国家戦略特区として医 た 日 潮流から取り残されてしま 「百万分の1」 '開催される米国臨床腫瘍学会に 応援したいと思っています。 ているが のものであり、 界のがん治療の潮流である 自分で考え、 た診断・治療が必要です。 7 んゲ 等々と嘆くのではなく、 まし I 米 の メイド医療」 る 「待ち」 た。 このままでは、 患 差 私が以前から提唱して 、ム医療や新 ゲノ て進んでいますが、 と語ら 「治す」 今後の ここ数年免疫療法が 先生からご指摘い になっ 医学界だけ 世界を先取りして であると強く感じ ムにかかる必要 世界の潮流を た人が多くなって 私はシ 患者さん個々の 、 の ゲ れてい ゲゲ 展開に期待 時代への た現在、 ノム情報 U 世界のご い免疫 学部 カゴ 患者さん が、 ました。 4 科学的 では (医療) 「失わ 医 今の 成田 前の新 新 い 希望

図2

プロフィール

## 中村祐輔 yusuke nakamura

公益財団法人 がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター・所長 内閣府本府プログラムディレクター

1977年3月 大阪大学医学部卒

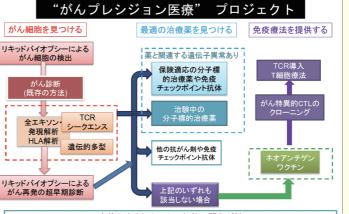
歴 2012年4月

1994年10月 東京大学医科学研究所分子病態研究施設教授

シカゴ大学医学部内科・外科教授

### 全論文の総被引用回数: 169,000回

世界的に認められているゲノム治療の第一人者として、遺伝子レベルでがんと対峙し、 その治癒を目指されています。



実装化するために人工知能の開発が鍵 膨大な情報から有用情報を引きだす 患者・医師・医療関係者への最新医療情報の提供 患者さんへの分かりやすい双方向の説明システムの構築

田医学部 指導のほど宜しくお願い致します。 力してみたいと思っています。 に少しでもお役にたてるよう成田の地で努 歩を歩み始める時だと考えています。 i新設を糧として中村先生のご研究 今後ともご

### つのみや高明の歩み 1946年12月生 愛媛県西予市明浜町出身

### 現在の活動

◎成田市議会議員(8期)◎千葉県地方議 員連絡協議会副会長◎自治体学会議員研 究ネットワーク幹事◎成田ユネスコ協会 副会長◎成田ニュータウン自治会連合会 副会長◎成田ニュータウンスポーツ連盟 事務局長◎中央大学北総白門会会長◎花 と緑の農芸財団理事◎成田市サッカー協 会顧問◎成田サッカースポーツ少年団顧 問◎成田市ソフトボール協会顧問◎成田 航空少年団顧問◎成田市ホームビジット 協会顧問◎成田コスモポリタンロータ リークラブ会員◎成田青年会議所 OB会 会員◎成田市国際交流協会会員◎構想日 本会員◎(一社) 成田医療2038研究所理 事長

\_\_ • 1969 新東京国際空港公団入社。

長嶋 茂雄理事長のもとに発足した 花と緑の農芸財団設立に携わる

中央大学時代(昭和 40 年~ 44 年)は、学生運 動とベトナム戦争の真っただ中でした。この時、 南ベトナムの留学生支援をつうじて、現在「花と 緑の運動」をしている素晴らしい仲間と出会い、 以来50年共に活動をしています。





第30代成田市議会議長として活動 一代目市川海老蔵襲名披露成田山お練り

第36代成田市議会議長として活動 千葉県市議会議長会会長 関東市議会議長会副会長

### 2038





成田山 開基1100年

成田国際空港 開港60年

今年2018年は成田山開基1080年、 成田国際空港開港40年の年です。そ こで20年後、成田山開基1100年、成 田国際空港開港60年にあたる2038年 を見据え、「市民が安心して生きる」 を求めていくと伴に、医療を通じて、 成田の地から発信していきたいと 思っています。

2038

1969 1970 1980 1990 2000 2010 2015 2020

1981 日本青年会議所千葉ブロック全員大会委員長

1972-73

土地収用に伴う立ち入り調査



通告担当を努めた当時の私

約8年間の用地部の大半は妨害鉄塔の用地交渉に 没頭しました。空港のために土地を手放さざる を得なかった地主さんの心情は、今でも私の政 治に取り組む原点です。また、空港の主体にな ることを目指して、労働組合を結成し、3期委員 長を務めました。

日本・メキシコ政府交換留学生研修終了時、 大統領官邸にて当時のエチェベリア大統領と



高度なマヤ・アステカ文明に感嘆と驚きをおぼえる とともに、今まで学んだ世界史に疑問を感じていま す。「ものの見方・考え方」の多様性を考えさせられ、 また、この偉大な古代帝国も狭い文化圏に存在した ことが滅亡への要因であったことを思うと、戦後た だ米国文化に追従してきた黄金の国ジパングの足下 も案外弱いものでは。では「さて、どうするか・・・」

### 2015-2016

現場からの医療改革 2015年 第10回シンポジウム意見発表 (東京大学医科学研究所 大講堂) 2016年 第11回シンポジウム意見発表

### 2015

### 医療タイムス「医療改革道場」より 上昌広先生の寄稿文に反響

2015年7月31日、政府は成田市に医学部を 新設する方針を固めた。2017年4月の開学を 目指すという。なぜ、成田市が 医学部を新設 しようと考えるに至った か、その舞台裏を紹 介したい。

きっかけは09年の新型インフル騒動だ。 成田空港を抱える成田市はパニックとなった。 この問題への対応で中心的役割を果 たしたの は、成田市議の宇都宮高明氏(後の議長)と 成田市副市長片山敏宏氏だ。

2018 (一社) 成田医療 2038 研究所設立

### 「成田に医の英知の結集を!」 上昌広先生とつくる新プロジェクト

成田にはポテンシャル があります。成田山新勝寺 を中心に三里塚闘争など を経て、「地域力」を育んで 来たからです。その実力が 発揮されたのが、38年ぶ りの医学部新設。これは成 田だからできたことです。 21世紀はグローバル化の 時代。海外への門戸として 成田はポテンシャルがあ ります。ただ、中国などア



ジア勢は歴史的に九州・関西との交流が多く、成田も安穏とはし ていられません。21世紀、世界の関心は環境、健康です。この団体 の目的は、医療を通じて、成田の地から発信していくことです。活 動に参画できることに感謝しています。